

勉強会 レポート

平成23年12月17日（土） 19時～21時
あざみ野 山内地区センター

テーマ 「IgA腎症と口呼吸」

講師： 堀田修 堀田クリニック院長(仙台) IgA腎症根治
治療ネットワーク代表 サークル顧問
元開富士雄 サークル副代表



堀田先生

サークル i の勉強会、口呼吸への警鐘第三弾「IgA腎症と口呼吸」が開催されました。IgA腎症とは、扁桃(旧称扁桃腺)粘膜を防御する免疫グロブリンIgAが腎臓の糸球体に蓄積し、機能低下から腎臓透析にいたる病気ですが、今回講師にお招きした仙台の腎臓内科医の堀田修さんは、扁桃摘出とステロイドパルス併用療法を開発し、この難病を世界で初めて治癒に導いた先生です。この研究過程で、上咽頭炎(通称ノドチンコの上方の鼻腔側粘膜の炎症)もこの病気に強く加担していることに気づき、更にこの炎症を起こしている人は、鼻で呼吸すべきところを口で呼吸している(口呼吸)人がほとんどであると力説されました。

鼻というフィルターを通さないウイルスや塵埃を含んだ空気に咽頭周辺が曝露され、炎症を引きおこし、この炎症が免疫システムや自律神経系の不調を起こして、腎臓病のみならず花粉症や喘息等各種アレルギー、皮膚炎、関節炎、頭痛など多種多様な全身の病気を引き起こしてしまうようで、これが正に「風邪は万病の元」と言える理由のようです。そして上咽頭炎は塩化亜鉛の塗布により治癒し、それに伴いこれら関連疾患も同時に消失していくそうです。

講演の終わりに、一年前に講演していただいた福岡の今井さんの「アイウベ体操」の改良法である「カイウベ体操」も披露され、またサークル i の元開からも小児の口呼吸の成因と対策が補強され講演を終えました。口呼吸やいびきの防止には、鼻の下から下唇にかけてのテーピングも有効ですので、ぜひお試しください。

昨年より三回にわたり講演された「口呼吸」問題に、今後もサークル i 会員は重大な関心を寄せてまいります。
(石井)

